

### 「ひばく」用語について

「被爆」、「被曝」および「被ばく」の用語について、本書の本文中では原則として以下のような使い分けを行った。

「被爆」：原子爆弾による被ばくを指す場合。

「被ばく」：上記以外の放射線被ばくの場合、また原子爆弾による被ばくを含めた広い意味での被ばくをさす場合。例「緊急被ばく」「放射線被ばく医療」

「被曝」：原則として「被ばく」に統一するが、固有名詞などの特に「曝」の字の表記を必要とする場合はこの限りではない。

また本書名「被曝者医療の国際協力25年の軌跡」においては、第1回目の記念誌である「一放医協10周年記念誌—被曝者医療の国際協力10年の軌跡」を踏襲して「曝」の表記をそのままとした。

## — HICARE 25周年記念誌 —

# 被曝者医療の国際協力25年の軌跡

発行／2017年(平成29年)3月

発行者／放射線被曝者医療国際協力推進協議会

Hiroshima International Council for Health Care of the Radiation-Exposed

HICARE25周年記念誌作成ワーキンググループ

加世田 俊一 (HICARE代表幹事、広島県医師会常任理事)

児玉 和紀 (HICARE幹事、放射線影響研究所主席研究員)

藤原 佐枝子 (HICARE幹事、広島原爆障害対策協議会 健康管理・増進センター所長)

田代 聡 (HICARE幹事、広島大学原爆放射線医科学研究所教授)

所在地／〒730-8511 広島県広島市中区基町10-52 広島県被曝者支援課内

TEL (082) 228-9901

FAX (082) 228-3277

URL: <http://www.hicare.jp/>

E-mail: [hicare1991@hicare.jp](mailto:hicare1991@hicare.jp)